



ちあい文々  
漫画エッセイスト

# ちあい文々 からのメッセージ

あの時の自分に伝えたい。  
「死んだらマジでもったいないよ」って

1 中学1年の冬、部活で突然口を  
きいてくれなくなった同学年の9人



2 その時、原因は思い当たらなかったけど  
自分が悪いんだと思った。  
自分のことが嫌いになったし  
学校に行くのがつらくて病んだ。



3 何をしても楽しくない。  
怖くて悲しくて  
この世界から消えたかった。  
自分はこの先も、ずっと一人ぼっち  
なのかなって考えていた。



それでも、なんとか生きていたらあかったこと。  
世界はどんどん広がっていく。新しいちがう未来が待っていてくれる。

4 高校生時代の部活では  
新しい仲間ができた。  
生きていて良かったと思える  
瞬間がいろいろあったよ。



5 デザイン専門学校時代には  
今まで会ったことのないタイプの人が出て  
一緒においしいものを食べたり  
たくさんおしゃべりしたり。



6 社会人になったら、  
仕事でともにがんばれる  
同僚や先輩が出てくれた。はじめて海外へも行き  
世界の多様さを目の当たりにして刺激ももらった。



7 親になり、新しい命を自分の手に  
抱いた時の感重いは言葉にはできないくらい。  
私たちはそうやって生まれてきたんだね。



おとなになった今でも、いじめるされたり  
傷つくこともあるよ。

でもね、自分を取り巻く世界は  
1つじゃないってあったから  
ずいぶん「楽」に生きていける。

人生には楽しいこともたくさんあるって気づいてね♡



そもそも、いじめたり、いじめるするやつって  
それが恥ずかしい事って気づけてないのだろう。  
残念な人だ。そんな人のせいで自分の時間を  
消費するのはもったいないのだ。  
ご飯を食べて元気だそう!

●漫画エッセイスト  
ちあい文々 さん

